

# 市議会だより



泳力育成水泳教室（男鹿市B & G海洋センタープール）

～男鹿から東北に力を！～

◆ 6月定例会審議日程 ◆

|       |           |
|-------|-----------|
| 6月12日 | 本会議（議案上程） |
| 16日   | 本会議（一般質問） |
| 17日   | 本会議（一般質問） |
| 18日   | 本会議（議案質疑） |
| 19日   | 予算特別委員会   |
| 20日   | 常任委員会・分科会 |
| 23日   | 常任委員会・分科会 |
| 26日   | 予算特別委員会   |
|       | 議会運営委員会   |
|       | 本会議（表決）   |

記事内容

|          |         |
|----------|---------|
| 6月定例会から  | P 2     |
| 一般質問     | P 3～P 6 |
| 議案質疑     | P 7     |
| 予算特別委員会  | P 7     |
| 常任委員会    | P 8～P 9 |
| 賛否一覧表    | P 9     |
| 編集後記・陳情等 | P10     |

## 11議案を可決

一般会計補正予算や  
過疎地域自立促進計画の変更など6月  
定例会

平成26年6月定例会は、6月12日に招集され、26日までの15日間の会期で開かれました。定例会初日には、平成26年度男鹿市一般会計補正予算（第1号）など8議案が提案され審議の結果、全て可決しました。

また、最終日には、人権擁護委員の推薦について異議なしとするともに、議案2件を可決し閉会しました。

●平成25年度一般会計決算  
及び男鹿みなと市民病院  
事業会計決算の概要につ  
いて

歳入総額は17億1,847万4千円、歳出総額は16億8,454万4千円となり、このうち継続費及び繰越明許費等に係る繰越財源を除いた実質収支では、2億2,694万円の黒字決算となっています。また、平成25年度の男鹿みなと市民病院事業会計決算概要は、当年度純損失が1億7,900万9,000円、不良債務が805万6,000円で、経営健全化計画との比較では、当年度純損失は7億7,900万円の増、不良債務は3億7,590万1,000円の改善となっています。

●シェールオイル掘削実証  
試験について  
石油資源開発株式会社「福

米沢掘削作業場」にて5月23日から掘削作業が行われています。男鹿市議会でも6月20日に現地視察を行いました。

●農業の状況について

米の需給調整について、転作面積目標が昨年より112ヘクタール増加したこと、加工用米や備蓄米等の作付け拡大に取り組んだところ、経営所得安定対策については、男鹿市農業再生協議会が6月2日から30日まで、対象農家12,077戸の交付申請書を取りまとめ、手続きをすることとなっています。

●観光の状況について

本年4月、5月における観光客の入込人数は、4月が8万2,666人、5月が20万7,318人で、昨年同期と比較して4月が16・7%減、5月が7・9%減となっています。宿泊客数は、4月が60

78人、5月が1万6,070人で、昨年同期と比較して4月が22・4%減、5月が3・4%増となっています。

●雇用情勢について

4月末現在のハローワーク男鹿管内の有効求人倍率は0・57倍で、昨年同期と比較し0・03ポイント減少しています。

## 永年勤続表彰

全国市議会議長会定期総会において、吉田清孝議員が議長在職4年以上及び議員在職15年以上の永年勤続者として、また、中田謙三議員が副議長4年以上在職者として表彰されましたので、6月定例会初日に表彰状の伝達を行いました。



中田 謙三 議員



吉田 清孝 議員

## 可決した主な議案

〔補正予算〕

●一般会計予算（第1号）

〔主な内容〕 園芸メガ団地整備支援事業費補助金4千297万円、道路補修工事費3千万円、住宅リフォーム助成事業費補助金2千万円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ6千220万円を追加し、補正後の予算総額を16億6千120万円とするものです。

●国民健康保険特別会計予算（第1号）

●下水道事業会計予算（第1号）

●農業集落排水事業会計予算（第1号）

●漁業集落排水事業会計予算（第1号）

〔その他〕

●財産の無償譲渡について

●字の区域の設置について

●男鹿市過疎地域自立促進計画の変更について

●人権擁護委員の推薦

●佐々木 邦子（船川）

●農業委員会委員の推薦

●吉田 清孝

●船橋 金弘

〔議員提出議案〕

●意見書2件



安田健次郎 議員

市長の政治姿勢について

**質** 集团的自衛権は憲法9条がある限り、どのような解釈をしても戦闘行為は許されない。また医療と介護、福祉の総合法案が議論されています。特に介護保険制度に問題があると思うが、市長の見解を伺います。

**答** 集团的自衛権は国民の意志を尊重し慎重に進めていただきたい。また介護保険制度の健全な運営が可能となるよう議論を深めていただきたいと思います。

地域運行バスの充実を

**質** 地域の不便を解消するために地域運行バスに取り組んでいるのだから、利用者本位の運行を考える必要があると思います。他自治体では安い料金で地域を周回する運行に取り組んでおり、本市でも検討すべきでないか。

**答** 利用実績向上のため、催し物や会議をバスダイヤに合わせた開催への協力をお願いしています。利用者は少しずつ増えています。さらなる利用促進を図ります。

す。循環バスについては、本市では集落が広く点在しているため適していないと考えます。

国民健康保険税について

**質** 市民の悩みは国保税の重税感であり、一世帯平均1万円の引き下げ努力をすべきと思います。また資格証明書や短期被保険者証の発行はやめるべきでないか。

**答** 国保税は加入者の相互扶助による制度となっており、公平な税負担による健全な運営が肝要です。資格証明書については特別の事情がなく国保税を滞納している場合に交付しており、まずは納税相談に応じていただきます。

農林漁業の振興策について

**質** 農業施策で発展型経営体に対する支援とあるが、具体的な取り組みは何か。また漁業については報告を受けるたびに実績が落ちている。実績引上げが重要であるが、どのような対策をするのか。

**答** 複合経営の拡大や多角化に取り組む経営体に、県と市の「未来にアタック農業夢プラン実現事業」や市の「男鹿産農産物生産拡大等支援事業」などによりネギやホウレンソウ、花き等を作付けするための機械や施設等の導入を支援します。漁業については、ブランド化や6次産業化に向けて導入する水産加工機器などに支援し、所得の向上を図ります。



佐藤 誠 議員

人口減対策について

**質** 日本創生会議の試算が出たが、市の行政維持可能な限界人口はどの位と考えているか。また出生率などの数値を掲げ、対策を設ける考えはあるか。市でも人口減対策の組織が必要ではないか。

**答** 市の行政が維持できる人口規模の数値試算は困難であり、合計特殊出生率については県と同じ目標値である平成26年から29年まで毎年0.02ポイントの上げ幅に向かって取り組みます。また各部署を横断した若手中心の職員による人口問題対策検討チームを設置し、方向性としてはコンパクトシティ化を進めていきます。

少子化対策について

**質** 子供が熱を出して保育園が預けられない場合、ベビーシッター等の支援はどうなっているか。

**答** 市では、病後時保育事業とファミリーサポートセンター事業を男鹿みなど市民病院内で実施しています。今後、病気中の子供の病児保育事業や、家庭的保育事業等について検討していきます。

業等について検討していきます。

**質** 実質的な婚活支援として若者に魅力ある地域にする方策はあるか。もっと、若者が気軽に集える場が必要ではないか。

**答** 市では秋田移住定住総合支援センター、移住交流推進機構との連携等により、市外からの移住、定住を促進するとともに、若者の出会いの場の創出を図り、結婚、出産、子育てへの切れ目のない総合的な支援を推進していきます。

観光資源利用の指針について

**質** 男鹿というより、秋田県ということで、なまはげが使われることが多いが、それでいいのか。秋田県のイメージとして捉えられることが多いので、平成22年2月に「男鹿のナマハゲ」として、商標登録を行いました。今後男鹿をアピールしていきます。

**質** ジオパークの観光面の活かし方として、例えばゴジラ岩のように、岩や地層に名前をつけてもらう賞金付きの写真コンテストを毎年開催すればどうか。撮影から、展示会、表彰式で、何度か男鹿に来ていただければ、やがて看板がつけば、「男鹿に自分の岩がある」ということで仲間や家族を連れてくるのではないか。

**答** 今年はずでに依頼している写真家もおりますので、また新たな展開として、検討していきます。

# 一般質問



米谷 勝 議員

## 男鹿中滝川地区雨水対策について

**質** 台風シーズンまでに、大雨のたびに被害を受けた杉下地区は解消されるのか伺います。

**答** 平成26年度、27年度継続事業で、杉下地区の公民館側と集落側をつないでいる市道の杉下橋から上流の杉下川との合流地点までの整備と国道橋の上流及び下流護岸の接続工事を予定しており、8月下旬から9月上旬に発注します。また、今年度は国道橋の上部工の架け替えも予定しており、杉下地区の被害解消に向け取り組んでおります。

**質** 県道入道崎寒風山線の道路排水処理について、その進捗状況を伺います。

**答** 地区会長及び農地関係者立会いのもと、現地確認をしております。県でも現地調査をしたと伺っています。今後、用排水系統等について、降雨時に県と合同で現地調査を行います。

**質** 脇本城跡調査整備基本計画と観光資源としての活用について伺います。

## 国指定文化財史跡脇本城跡について

**答** 今年3月に策定した整備基本計画に基づき、来年度に実施設計を行い、翌28年度から城をめぐる散策路や誘導標識等の整備を進めてまいります。

**質** 指定地内の個人所有地を公的資産として確保できないか。

**答** 来年度から土地所有者調査等補助事業化に向けた準備にとりかかります。

## 船越小学校グラウンド、プール改修について

**質** 船越小学校グラウンドは、雨が降ると数日使えない状態になります。現地調査など整備についての考え、さらにプール底の補修等を実施する予定はないか。

**答** グラウンドは今後、市の財政状況を考慮しながら検討してまいります。プールは底の一部にコンクリートが薄く剥離した箇所が見受けられるが、現状において使用に支障ないと考えています。

**質** 授業で使用するプールはB&G、市民プールに集約し、学校プールは27年度から廃止の方向で進めているようだが、夏休み期間中などどのような利用となるのか伺います。

**答** B&Gプールなどの利用については保護者の方々の送迎や路線バスなどの公共交通機関の利用をお願いします。

## 【その他の質問】

●地域包括ケアシステムの取り組みについて



三浦 一郎 議員

## 市長の政策姿勢について

**質** 市議会議員改選後、初の定例会になることから、市長の26年度の政策課題への思いと内容を伺います。また、本市は平成20年6月に「非核平和都市宣言」を行っているものの具体的活動をしていない「日本非核宣言自治体協議会」に加入していない。核兵器はもとより、安全と言われている福島原発の核平和利用・原発でも恐ろしさ証明されたので、同じ東北人として加盟 交流すべきでないか。

**答** まちづくりの基本目標6項目にそって①滞在型観光・教育旅行等の誘致、園芸メカ団地整備事業②少子化・人口減対策で市内組織発足、結婚支援③住宅リフォーム助成継続、ごみ減量化・生ごみ堆肥化実証試験実施④安心・安全の避難場所表示板や津波避難路整備⑤船一小の大規模改修⑥町内会交付金制度で地域連携の支援、また行政運営では市拠点施設として本庁舎耐震工事を実施します。非核宣言に関しては、平成24年9月から「平和首長会議」に加入

しており、日本非核宣言自治体協議会には広島、長崎の市長も加盟していると伺っていますので、精査して検討したいと思います。

## 下水道機能等の整備について

**質** 公共下水道は浦田、樽沢、百川方面にも延びていますが、百川地区までは、いつ頃完成するのか伺います。また、樽沢岡谷地内には土地改良区利用とされる用水系の一部が残り、有効使用されずに悪臭に悩まされています。管理責任や活用等の見通しを伺います。

**答** 3地区の下水道は平成24年3月に事業認可を受け、浦田地区から工事着手しています。浦田地区は25年度から28年度、樽沢地区は28年度から32年度、百川地区は32年度から35年度までの計画として事業を進めていきます。岡谷地内内の用水路に関しては、渡部土地改良区が使用していたもので、パイプライン用水路の整備後利用されなくなり、所有者は市ですが、土地改良区が管理権を放棄していない状態です。滞水状況が見受けられることから、渡部土地改良区並びに樽沢町内会と現地調査を行い、改善方法等について検討していきます。

## 【その他の質問事項】

●生ごみ堆肥化の取組みについて  
●男鹿の花「椿」に関して



木元 利明 議員

## 行財政運営について

**質** 平成18年4月、事業者のコンプライアンス（法令遵守）経営を強化するため、公益通報保護法が施行された。市の事業において、万が一、法令違反行為や人の生命、身体、財産などに重大な影響を及ぼす行為があった場合、これらを知った職員等が通報できるような根拠を持つておくべきと考えます。これは不適正な行政運営を未然に防止し、このような事態が発生した場合には、早く、かつ適切に対応し、再発防止を図ることが期待でき、真に市民に信頼される市政を確立し、市民の公共的な利益を保護することになると思うが見解を伺います。

**答** 市役所内部における公益通報制度は、不正行為等を早期に発見し、速やかな是正につなげ、法令遵守等をさらに推進するため重要な制度と認識しており、早期に公益通報制度の整備を図ってまいります。

## 少子化対策への取り組みについて

**質** 深刻な少子化の一因が婚姻率の低さにあると言われているが、

すが、本市における結婚支援事業概要と対策について伺います。

**答** 地域における結婚支援対策の強化を図るため、結婚サポートに対する知識習得機会の提供、ネットワークの構築、地域講演会の開催、結婚希望者や若者に結婚に対する意識醸成を図るため、結婚をイメージした映像やパンフレットの作成を行います。今後も出会いの場の拡大を図るため、あきた結婚支援センターのメールマガジンを活用しながら、スポーツ観戦や芸術鑑賞などの趣味を通じた出会いの場の情報発信に努め、官民一体となつて取り組んでまいります。

## 農業政策について

**質** 農業法人化等推進支援事業に係る対応、推進方法を伺います。

**答** 現在進められている圃場整備事業では、事業採択後に高度経営体として位置づけられる農業生産法人を新設し、農地を集積する場合に促進費が交付されることから、法人化の推進に取り組んでいます。対応として、設立時の費用負担を軽減するとともに、国の人・農地問題解決加速化支援事業とあわせ支援します。

## 【その他の質問】

- 市長の政治姿勢について
- 地域活性化策について



進藤 優子 議員

## 軽・中度難聴者への補聴器購入費の助成について

**質** 高齢化社会が進む中、難聴者は日常生活に制限を受けており、高齢者の閉じこもり、うつ病、認知症へと進んでいく可能性があり、早めに補聴器をつける対応が重要です。高齢者が生き生きと暮らすために軽・中度難聴者への補聴器購入費の助成事業を創設すべきと考えますが、市長の見解を伺います。

**答** 18歳未満の児童等への支援は、成長過程での言語取得、コミュニケーション力向上の観点から、平成22年度から助成しております。高齢者への支援については、聴力の衰えは視力と同様、加齢に伴う現象であると推察されることから考えていませんが、閉じこもりからうつ病になるようなことも懸念されますので、軽・中度難聴者の数の把握等、研究してまいります。

## 消防団の処遇改善と装備の拡充について

**質** 昨年12月に消防団を支援する消防団を中核とした地域防災力の充実、強化に関する法律「消防団支援法」が成立、施行され、団員の処遇改善や装備品、訓練の充実に向けた予算が確保されました。年額報酬や費用弁償の額の改善、装備の拡充について、どのように取り組まれるのか伺います。

## 雑誌スポンサー制度導入について

**質** 雑誌の購入費をスポンサーに負担してもらい、図書購入費の新たな財源を確保しつつ、地元企業などのPRと市民サービスの向上にもつながる「雑誌スポンサー制度」を導入すべきと考えますがいかがでしょうか。

**答** 雑誌購入費を節減し、他の図書資料の購入費に充当することとは、図書館サービスの向上を図る上で極めて有効なものであると考えます。企業及び個人事業者、公的団体などの情報発信ツールとして活用されることから、募集について検討してまいります。



佐藤巳次郎 議員

## 77歳敬老祝金の支給存続を

**質** 行政改革大綱では、平成27年度から敬老祝金を88歳と100歳だけにし、77歳等の支給を廃止するとしています。77歳は喜寿ということで更なる長寿を願いながら祝うのが現実であり、88歳まで祝金の支給がないなら、高齢者に対する温かい支援が行政として不足していると言わざるを得ません。88歳の支給では遅いと考えます。廃止の理由を伺います。

**答** 近年、急速な高齢化の進展など社会情勢が変化しており、平成24年度の日本の平均寿命が男性79・94歳、女性86・41歳と伸びていることや県内の市で支給しているのは本市のほか1市のみであることを考慮し、見直しをするものであります。

## 学校プール廃止しB&Gプールへの集約は学校教育の妨げに？

**質** 平成27年度から小中学校の既設プールの老朽化により、授業で使用するプールはB&G、市民プールに集約し、学校プールの廃止により、管理費が4年間で2

400万円削減できるとしています。B&Gプールまでの移動時間等、時間のロスと無駄がでるし、他の授業時間への影響が考えられます。行政改革でなく、学校教育の妨げになると強く危惧するものでありますが、市の考えを伺います。

**答** 学校プール集約後の授業については、各学年、半日の日程で4回予定しています。またB&Gプールまでの移動に要する時間は発生するものの他の授業への影響は少ないものと考えています。

## 「人口問題対策検討チーム」設置

**質** 日本創成会議・人口減少問題検討分科会は地方から都市部への人口流出が現在のペースで続くと30年間で20代、30代の若年女性が半数以下に減る自治体が全国で896に上り、本県では大潟村を除く全市町村が該当します。本市は2010年の若年女性人口2671人が、2040年には679人になり、減少率74・6%で全県一となる数字が発表されています。将来人口を見定めた対応を早急に立ち上げる必要があります。

**答** 「人口問題対策会議」のような機関を作るべきであると思うが、市長の見解を伺います。

**答** 人口減少対策は市職員全員が問題意識を共有し取り組むべきことから、若手職員による「男鹿市人口問題対策検討チーム」を設置し対応することとしています。



土井 文彦 議員

## 文化・スポーツコミッションについて

**質** 文化・スポーツコミッション設立により、新たな交流人口拡大による観光への結びつけ効果が期待されます。受入れに関わる横軸連携の強化と地域連携の促進さらに官民協働が図れる文化・スポーツコミッション設立に対して市長のご所見を伺います。

**答** 現在の実行委員会組織において横軸連携、地域連携、官民協働で運営をしており、ご提言の機能を果たしているものと認識しておりますが、今後、先進事例を研究してまいります。

## 市ホームページとSNSの活用について

**質** 職務中のインターネット活用状況とスキルアップの勉強機会、情報漏洩の注意喚起の場を設けているか伺います。

**答** 情報収集や国や県など外部との業務上のやり取りに必要不

可な通信手段として、日常的に活用されています。スキルアップ等の勉強機会は、新しいシステムを導入の際に操作説明会を実施しています。コピーファイル持ち出しは、暗号化して情報を保護する仕組みを取り入れ、事故防止のための意識啓発のため、朝礼で情報漏洩の注意喚起をしています。

**質** 佐賀県武雄市のような、SNSで話題性のある記事の発信と更新により、双方向のコミュニケーションをとれないものか伺います。

**答** 双方向の情報と意見交換のやりとりは、政策的な内容の場合、調査、議論がないまま担当者が独自の判断ができないことなどから、市からの情報発信に限定しています。更新頻度については、イベント情報を中心に、月に2、3回程度となっています。今後とも、更新頻度の向上と更なる情報収集に努め、内容の充実と効果的な情報発信を行ってまいります。





観光振興に対する予算の考え方について

**質疑** 本市は、国定公園指定以前から観光事業に非常に力を入れ、今日に至っています。市長もまた就任以来、観光振興に取り組み姿勢が強く感じられ、議会でも、観光議員連盟を設立し、各種団体との意見交換等を行ってきています。デスティネーションキャンペーンが終了し、この後、どう中長期的な展望を持って、施策を講じていくのか。市長はどのような考え方で観光振興を進めて行くのか伺います。

**観光、教育、農林漁業、そして福祉、この4つの柱が観光の基礎になると思うが、市長は在職5年間で、どのような実績、結果があったのか示していただきたい。**

**また、市外からの定住を促進するため市営住宅を建設し、5世帯転入しているが、転出した若者の追跡調査を行っているのか伺います。**

**答** 観光は、本市の大きなテーマの一つです。市と県が一緒になって男鹿の観光について考える協働プログラムの中で、男鹿の観光を見直し、考えていきたい。

イベント期間は限られており、その期間中に集中してお出でいただくことによって、男鹿の観光をアピールしていただく方、男鹿の観光のファンになつてくださる方を増やすことを目的にやってきました。海フェスタであれば2週間の期間で1年分をカバーすることは難しいが、実施することによって訪れた方から男鹿のことを理解していただくという積み重ねが必要だと思っています。築港100年事業により、ポートオブザイヤーグランプリを、さらに海フェスタの開催、みなとオアシスの指定、そして海の目モデル地区の認定等、対外的に発表できるものが成果であり、男鹿のいいところを発信してくれる方々を増やす、この積み重ねでしか今の観光は掘り起こせないと思っています。

**また、若者の追跡調査については、転出される方よりも転入してくる方、新たに住まわれる方を中心に検討します。**

予算特別委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された、一般会計補正予算等について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の質疑された中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

大規模花き

団地の整備

**質疑** 園芸メガ団地整備事業の内容について伺います。

**答** 輪菊及び小菊の大規模団地の整備を支援するもので、船越杉山・根木地区の転作田を活用した菊の生産団地を平成26年度から28年度の3力年で整備をし、平成29年度に1億円の販売額を目指すものです。総事業費は3力年で1億5093万1千円、設置規模は8・5ha、参加者は1法人及び4農業者で、うち2農業者が潟上市の方となっております。事業費の市町村負担分は男鹿市と潟上市で応分の負担をすることで調整中です。

人口減少問題

について

**質疑** 市長の掲げる、交流人口を定住人口につなげる施策では、定住人口の減少傾向は

変わらないのではないかと。

**答** あくまでも交流人口は一つの方法で、雇用の場も設けなければなりません。ただ、定住人口を増やす手段として、今、企業誘致で雇用を増やせるという状況にはありません。観光等での交流人口によって経済効果が生まれれば、そこに収入の基盤が出来ますので、その基盤の中で雇用が生まれると考えています。

木質バイオマス発電

導入の可能性は

**質疑** 木質バイオマス発電の導入の可能性について、調査結果と今後の取り組みについて伺います。

**答** 電力供給事業として、採算ベースの5メガワットの発電量が最低限必要であり、そのための一番の問題は年間約7万トンの間伐材等の燃料購入であるとの調査結果が出ました。しかし、間伐材等は

門前五社堂の周辺

整備について

**質疑** 観光協会の要望書①五社堂に隣接し大型バスなどの車両が駐車できる新たな駐車場の整備について、②五社堂山頂までの遊歩道整備について、③現地臨時観光案内機能の強化についての3点の要望への対応状況及び予算額について伺います。

男鹿市内だけで集めることができず、近隣他市町村からの安定した調達も見込めない状況です。現状では木質バイオマス発電の導入は非常に厳しい状況になりましたが、今後研究課題としたいと考えております。

**答** ①駐車場の候補地が、自然公園法により厳しく制限されており、県の自然保護課からの「観光目的の駐車場新設は認められない」との見解を受け、駐車場の整備は困難であると認識しております。

②昨年度、デスティネーションキャンペーンに関する整備の一環として、48万3千円の事業費により五社堂の石段の補修を行っております。③現地への観光案内人の配置などを行う現地臨時観光案内機能の強化については、今後の検討課題としてまいります。

# 委員会・分科会の動き

## 総務

各常任委員会・分科会は、付託議案と所管の予算案を審査し付託議案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

**質疑** 防災行政無線の工事内容と難聴地域からの要望等への対応について伺います。

**答** 防災行政無線拡声子局建替工事については、宮沢地区子局設備の支柱の腐食により実施するものです。

地域から聞こえにくいとの要望等があった場合は、現地調査した上で、計画的に整備を進めているところです。

**質疑** 4月からの消費税増税等の影響もあり、市民の暮らしは大変である。財政調整基金や地域振興基金をある程度取り崩して、市民サービスに振り向けていくべきと思うが、どのように考えているか伺います。

**答** 財政調整基金については、現在平成25年度決算剰余金の積立金を加え約12億円となつています。基金残高は23年度末で約18億円、24年度末で約17億円、25年度末で約15億円と年々残高が減少している状況にあります。主な理由

としては、市税において、前年度並みの収納率を維持しているものの、石油備蓄基地関係の国有資産等所在市交付金の減少により、収入額として減少していることなどによるものです。また、今後、豪雪などの災害への対応等も考えると、基金の取り崩しは厳しいものと考えています。

地域振興基金については、果実運用型基金であり、地域振興のための財源として活用しているものです。

**質疑** 施設建設などの際、起債により事業を実施しているが、償還に伴う高い利息を支払うよりも、基金を活用するなどの考えはないか伺います。

**答** 施設建設等の整備にあたって、起債により実施する場合、将来にわたって長期間活用する施設の建設費を、今現在の世代でのみ負担するのではなく、今後使用していく世代にも負担してもらい、世代間の費用負担の公平性を確保するものです。また、起債にあたっては、地方交付税算入の財政支援がある起債と

しています。これらのことから、基金を財源として一度に支出するのではなく、起債を活用し、安定的な財政運営に努めているものです。

**質疑** 男鹿市特任相談員の具体的な活動内容等をどのように想定しているか伺います。

**答** 特任相談員の方々は県職員としての行政経験も豊富であり、特に市と県とのパイプ役としての活動などに期待をしています。

## 教育厚生

**質疑** 生ごみ堆肥化事業に関して、

①佐賀県の「伊万里はちがめプラン」をモデルとした理由を伺います。

②今後の計画と将来的な目標について伺います。

**答** ①「伊万里はちがめプラン」では、平成4年頃から生ごみの堆肥化に取り組んでおり、生ごみの回収から堆肥造り、それを活用するシステムが、非常にうまくいっている例として、国の先進事例にも紹介されております。それに加え、「伊万里はちがめプラン」から、必要に応じて指導をしていただけることなどが

理由です。

②生ごみを原料として堆肥を生産することで、可燃ごみの減量が図られるほか、処理費用の節約や最終処分場の延命にもつながります。本年度から、本格的な事業を展開する前段階として、堆肥の生産技術の蓄積と、生ごみ回収システムの確立を目標に、小規模な施設での実証実験を行い、発生する課題の解決を図りながら、規模拡大を検討していく計画です。

**質疑** 学校プールを廃止して、B&G海洋センタープール等に集約することについては、無理があるのではないか伺います。

**答** 学校プールを廃止することについては、行政改革大綱に掲げる経費の削減、効率的な行政運営等々、行革の目的を踏まえるとともに、プールの現状も考慮して計画したものです。ただ、今年度は各学校ともプールは開放する予定であり、児童クラブも含めた利用実態、保護者の方々の送迎の実態等々、詳細に把握をした上で、見直すべき点があるのかどうかということも含めて検討します。

三つの常任委員会合同での「石油資源開発株式会社・シェールオイル試験採掘現場（福米沢）」の現地視察を行いました。



# 常任委員会・賛否一覧表

男鹿市議会だより

No.41 26.8.1

**所管報告**  
市当局から、小学校の統合に関して、野石小学校と美里小学校との統合については、野石小学校PTA役員との協議や保護者説明会などで、統合を前提とした具体的な話し合いが行われており、平成27年4月1日の統合に向けて、7月末を目途に、結論を出して行きたい。また、6月25日開催の船川南小学校保護者説明会において、船川第一小学校との統合に反対する意見が多数を占めていたことから、今後の進め方について検討したいとの報告がありました。

## 産業建設

**質疑** 住宅リフォーム助成金について、当初予算で3千万円の予算措置をしており、今回の補正で2千万円増額し、合計5千万円とした根拠について伺います。

**答** 平成25年度と24年度との比較で申請件数が減少していたため、動向を見極めるため今年度当初予算に3千万円措置しました。5月末現在の実績は、申請件数で8件、金額で約230万円昨年度より減少していますが、2千万円

補正し、昨年度当初予算と同額の5千万円としました。

**質疑** 園芸メカ団地で栽培する花きの販売先の見込みと栽培した花きの地産地消について、また冬期間の栽培には燃料費等が必要となるが採算性について伺います。

**答** 輪菊・小菊の市場需要は多く、今後、取引市場と交渉しながら取り組んでいきます。地産地消については、事業主体のJA秋田みなみが、将来、花束パック加工への取り組みを予定しています。花束パック加工することで地元量販店への出荷が可能となり、地産地消につながっていくと考えています。また冬期間の栽培については、整備予定の施設栽培用ハウス15棟のうち育苗用に3棟だけを稼働する予定となっています。

**質疑** 加茂漁港の防波堤及び護岸の嵩上げ工事について、国定公園内ということと景観に配慮する必要があるのか伺います。

**答** 漁港部分は国定公園内ではありますが、特別保護の規制がかかっていない所です。平成24年春に発生したような爆弾低気圧等の接近時には非常に大きな波が発生すること

を踏まえて、今回の嵩上げ工事实施となりました。



加茂漁港

**質疑** 多面的機能支払交付金事業について、事業に取り組む予定地区以外の農地をどのように維持管理するのか伺います。

**答** 事業実施に当たっては、組織のリーダーや経理担当者等が必要になりますが、そのような人材がいなかったため、取り組めない地区が見られます。このような地区に対しては、再度事業実施に向けた働きかけをしていきます。また、どうしても取り組めない地区の農地の維持管理については、どういう支援が出来るか今後検討します。

## 議会案第2号 集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書

| 賛 否 一 覧 表（平成26年6月定例会）                                 |           |      |     |      |      |      |      |        |      |     |      |      |       |      |      |      |           |       |       |         |     |
|-------------------------------------------------------|-----------|------|-----|------|------|------|------|--------|------|-----|------|------|-------|------|------|------|-----------|-------|-------|---------|-----|
| 会派・議員名<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>議 案 番 号 | 市 民 ク ラ ブ |      |     |      |      |      |      | 新 生 21 |      |     |      |      | 政 和 会 |      |      |      | 日 本 共 産 党 |       | 公 明 党 | 議 決 結 果 |     |
|                                                       | 吉田清孝      | 高野寛志 | 米谷勝 | 木元利明 | 船木正博 | 畠山富勝 | 三浦一郎 | 土井文彦   | 古仲清尚 | 佐藤誠 | 小松穂積 | 笹川圭光 | 三浦桂寿  | 中田謙三 | 船木金光 | 船橋金弘 | 三浦利通      | 佐藤巳次郎 | 安田健次郎 | 進藤優子    |     |
| 議会案第2号                                                | ○         | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○      | ×    | ×   | ×    | ○    | ○     | ×    | ×    | ○    | 議         | ○     | ○     | ×       | 可 決 |

(○：賛成 ×：反対 議：議長)

※三浦利通議長は採決に加わりません。

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

## 陳情

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書

● 赤神神社・五社堂一帯の観光資源を活かす為の環境整備促進について

● 《主な内容》大型観光バスが駐車できる新たな駐車場整備、五社堂社殿までの遊歩道整備、現地臨時観光案内機能の強化などにより男鹿観光全体の可能性を高める効果を期待する。

## 意見書

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

● 集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書

2件とも可決されたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

## 議会改革検討委員会設置

平成26年6月26日に開催されました男鹿市議会会派会長・幹事長会議において、議会改革を検討協議することが全会一致で確認され、「男鹿市議会改革検討委員会」が設置されました。

## 議会を傍聴

しませんか！

## 9月定例会は

下記の予定です



6月定例会の傍聴者は52人でした。

## 平成26年9月定例会日程（予定）

| 月  | 日  | 曜日      | 会 議 名                                          | 主 な 内 容                                            |
|----|----|---------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 9  | 5  | 金       | 本 会 議                                          | 決算特別委員長報告（公営企業会計）<br>質疑、討論、表決<br>市長提出議案上程(提案理由の説明) |
|    | 9  | 火       |                                                | 一般質問                                               |
|    | 10 | 水       |                                                | 一般質問                                               |
|    | 11 | 木       |                                                | 議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託<br>決算特別委員会設置・付託             |
|    | 12 | 金       | 予算特別委員会                                        | 付託議案の審査・分科会設置                                      |
|    | 16 | 火       | 決算特別委員会                                        | 付託議案の審査・質疑・討論・表決                                   |
|    | 17 | 水       | (一般・各特別会計)                                     |                                                    |
|    | 18 | 木       | 常任委員会・分科会                                      |                                                    |
|    | 19 | 金       |                                                | (総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)                            |
| 25 | 木  | 予算特別委員会 | 各分科会委員長報告、質疑、討論、表決                             |                                                    |
|    |    | 議会運営委員会 | 最終日の運営について                                     |                                                    |
|    |    | 本 会 議   | 各委員長報告<br>(総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別)<br>質疑、討論、表決 |                                                    |

## 議会の豆辞典⑮

### ● 一般質問

市政全般にわたり、執行機関（市当局）に対し事務の執行状況や事業の方針等について考えを質し、あるいは報告説明を求め、疑問を明らかにすることをいいます。

一般質問は、定例会において実施されており、男鹿市議会では、通告制（あらかじめ発言の趣旨を告げること）を

採用しています。通告制を採用している理由は、質問の内容が分からないと執行機関で十分な準備ができず、議員にとつても不満足な答弁しかもらえないという問題が生じ、充実した能率的な議会運営ができなくなるからです。

このため、質問議員は「発言通告書」をあらかじめ議長に提出することになっています。

## 編集後記

▼ 改選後初めての定例会は、張りつめた雰囲気の中で開催されました。

▼ 市の人口は、合併時に3万6000人を超えていたが、6月末現在3万4711人まで減少し、一般質問でも、3名の議員が少子高齢化・人口減少問題を取り上げ、活発な議論を交わしました。

▼ 市でも、職員11名による、「男鹿市人口問題対策検討チーム」を立ち上げ、その結果を今後の施策に反映させることを期待しています。

▼ また、会期中には、福米沢地区で進められている、シェールオイル実証試験の掘削現場を視察し、垂直に1300m、さらに水平に650m掘り進む技術に感嘆しました。今秋には採取に成功することを願っています。

▼ 市内には、ジオパーク、シェールオイル、太陽光・風力発電など資源が豊富にあり、地域資源の活用はもろんのこと、雇用の確保、そして人的資源の流失をくい止める手段を早急に講じていかなければなりません。

（中田謙三）